

## はじめに

茨城大学人文社会科学部・人文社会科学研究科の『茨城大学人文社会科学部・人文社会科学研究科年報 2023（対象年度：2022）』が発行の運びとなりました。

令和 4（2022）年度は、新型コロナウイルス感染が国内で初めて発見されて 3 年が経過し、感染は拡大しつつも、当初に比べると重篤化率の減少傾向がみられたことから、学部・大学院の運営を一部通常モードに切り替えた部分もありました。教育・研究・大学運営において、ほぼオンラインでコミュニケーションをとった前年度に比べると、学生間そして教員と学生との関係性も多少は深まったように感じますが、マスク越しの会話にどうしても距離を感じることもありました。学生が置かれた状況に教職員一同、心を砕きつつも、学生が自らの能力を伸ばせるよう様々な面でサポートを行いました。困難な状況であるからこそ、教育・研究において新たな課題を見だし、ポストコロナを見据えた新たな挑戦を続けた一年でもありました。

この年報が、大学内外の皆様にも、私たちのさまざまな取組みの状況を知っていただく一助となれば幸いです。

人文社会科学部は、平成 29（2017）年度に発足し 6 年が経過しました。現代社会・法律経済・人間文化の 3 学科で構成され、人文科学・社会科学を体系的に学びながら、専門分野を超えた幅広い視野を体得することを特色としています。7 つのメジャーとサブメジャーの学びを通じて、深い専門性と幅広い視野を身につけるとともに、国内外の「地域」で、さまざまな人とのかかわり学ぶ、アクティブ・ラーニングの授業では、実践力を養います。

人文社会科学研究科は、文化科学専攻と社会科学専攻から構成され、後者では現職地方公務員・地方議員を対象とする、地域政策研究（社会人）コースを開設しています。また令和 3（2021）年度の改組においては、「公認心理師」を養成する新しいコース教育を新設したほか、テクノロジーと人間社会にかかわる科目を必修化し、リカレント教育全般を拡充するなど、社会ニーズに沿った教育を展開しています。

これからも取組みや成果を自ら確認し、それらを自己改善につなげる作業が不可欠になります。学部ホームページにも掲載している『年報』が、対外的な情報公開ツールとしてはもちろん、学部・研究科内でも大いに活用されることを期待しています。

2023 年 9 月 1 日

茨城大学人文社会科学部長・人文社会科学研究科長：原口弥生